



令和6年9月19日

栗東市長 竹村 健 様

主たる事務所の所在地 栗東市笠川 31-3

団体名 手原 SL 同好会

代表者氏名 西村 正男

未来へつなぐ市民活動応援事業団体登録申請書

支援希望団体として登録を受けたいので、栗東市未来へつなぐ市民活動応援事業補助金交付要綱第3条第1項の規定により、関係書類を添えて申請します。

団体名 (ふりがな)	手原 SL 同好会 (てはらえすえるどうこうかい)		
主たる事務所	所在地 〒520-3033 滋賀県栗東市笠川 31-3		
担当者連絡先	氏名 (ふりがな) 西村 正男 (にしむら まさお)		
	電話番号	FAX 番号	
	E-Mail	連絡希望手段・時間帯 電話：午前中	
ホームページ	https://teharaslclub.wixsite.com/teharasl		
団体設立年月日	平成 21 年 (令和 2 年再編)	会員数	19 名
活動目的	貴重な産業遺産である SL(蒸気機関車)の恒久的な保存を図り、併せて市内外への観光事業や教育活動への有効活用を図るため。		
事業概要	手原 SL 公園内に静態保存されている SL の経年劣化が著しい。この SL の美観を取り戻し、末永く市民に愛されるよう保存に努めていく。		
登録要件	☒ 支援希望団体の登録要件 (栗東市未来へつなぐ市民活動応援事業補助金交付要綱第 6 条) をすべて満たしている		
目標寄附額 (初年度)	210,000 円 (初年度総事業費 230,000 円)		

団体登録事業計画書

活 動 場 所	手原 SL 公園内
解決したい地域の 現状や課題	数年前、栗東市の SL を見学に来られた方から、SNS を通して「酷い状況にある」との発信がなされた。滋賀県内には、同様の SL が数カ所静態保存、展示されているが、ほとんどが美観上綺麗に手入れされ、保持されている。貴重な遺産である SL の本来の美観を取り戻し、SL 本体の欠損部分の補修や塗装を施すことにより、広く市内外からの見学・訪問者にも感動を与えるような SL へと改善しなければならない。本来の SL の姿に戻すことにより、SL の存在を市の観光事業や子どもたちの教育的活用にも繋げていくべきである。
今後の事業予定 （市ホームページに掲載する文章として記入ください 《600 文字以内》） ※複数の事業を行う場合は、優先順位の高い順に記載してください。	①毎月第3日曜日の午前中、SL の静態保存維持のための補修作業を実施。同日、SL 公園内敷地の雑草・異物等の除去、清掃活動を実施し、環境美化に努める。 ②SNS を活用して、一般市民が参加できるイベントや展示会等を行う。 8 月 夏休み子ども企画イベント 10 月 鉄道記念日企画イベント 12 月 年末（お正月飾り等の準備）企画イベント 1 月 正月飾り・お鏡割企画イベント その他、適宜のイベントや他団体とのコラボ企画イベント等を開催します。 ③同好会会員、ボランティア仲間との交流を深め、SL の保存維持方法等を学ぶための研修として、県外・他市地域の静態保存されている「SL 保存会」の皆さんとの交流会や研修会を適宜行う。

期待される効果	経年劣化による錆や塗装の剥離が著しい SL(蒸気機関車)の美観を取り戻し、広く市内外に SL の静態保存を周知することにより、今まで以上に栗東市の産業遺産としての認識を深めていただき、この価値ある遺産を観光資源として、ボランティア観光ガイド協会との協力、連携もしながらあまねく周知し、また貴重な遺産を多くの方々に見学していただくことにより、特に子どもたちには、理科や歴史の活きた教材として活用を図っていただける。併せて、静態保存の SL のもとで、各種のイベント等を開催することにより、多くの市民に娯楽を提供し、広く SNS を通じて栗東市の魅力や文化活動を広報していきたい。栗東市の文化や歴史認識への深さを知らしめる好機になると考えている。
事業実施体制	(会長) 西村 正男 (副会長) 船江亜由美 (会計) 吉田 進 (会計監査) 朝田 文作 (庶務担当) 矢野 俊治 (広報・SNS 担当) 今村 淳志 (アドバイザー・渉外) 中村 昌司 (アドバイザー・技術) 平野 正造、田中 英幸 (協力団体) 手原自治会、鉄道 OB 会栗東支部、栗東市ボランティア観光ガイド協会
事業の PR 方法 (寄附の獲得)	各種イベント等に参加された方々に直接寄附を呼びかけます。またこれまでどおり手原 SL 同好会のホームページや、Instagram を始めとする SNS を活用して、また個人のさまざまな媒体 (フェースブックやライン等) を通じて広報の充実化を図り、より積極的で拡がりのある広報の発展に務め、確実な寄附の獲得を目指したい。
自立的・継続的に活動していくための工夫	SL の文化遺産、鉄道遺産の存在を広く周知するため、保存活動に理解をしていただける市民との交流、他県・他地域の SL 保存会との交流や研修を通じてコミュニケーションを深めることにより、実施体制の強化に努めます。またイベント等開催に当っては、多くの市民団体とのコラボ企画開催も行うなど、一般市民等多くの方々に参加、見学していただく創意工夫をより図っていききたい。
申請事業に対する助成金や委託料等財源確保の取組み	現在の活動に対する確かな継続に向け、申請できる制度等の有無について、検討します。

別記様式第3号（要綱第7条関係）

収支計画書（令和7年4月～令和8年3月）

【収 入】

科 目	内 訳	金 額
補 助 金	未来へつなぐ市民活動応援事業補助金	補助目標額 170,000 円
自 己 資 金 (会費等)	会費 1,200 円×19 名、研修費等	60,000 円
事業収入 (受益者負担金)		円
その他		円
収 入 合 計		230,000 円

【支 出】

科 目	内 容 ・ 積 算 根 拠	経 費	
		対象外経費	対象経費
人件費		円	円
報償費	イベント事業出演者、研修会等講師謝礼	円	18,000 円
旅費交通費	イベント出演者の交通費等	20,000 円	27,000 円
消耗品費	事務用品・用紙代	円	20,000 円
印刷製本費	静態保存 SL の説明書・チラシ等印刷	円	30,000 円
食糧費及び食材費	各イベント事業開催時のボランティアお茶代等	20,000 円	円
光熱水費		円	円
通信運搬費	インターネットプロバイダ料等	円	30,000 円
手数料		円	円
保険料	イベント保険、ボランティア保険料	円	20,000 円
委託料		円	円
使用料及び賃借料		円	円
材料費	公園清掃用、SL 補修用塗料等の材料費	20,000 円	25,000 円
その他		円	円
支 出 合 計		60,000 円	170,000 円

※年度毎にわけて記入してください。

手原 SL 同好会会則

(目的)

第1条 本会は、会員相互の健康維持と親睦を図り、栗東市のシンボルである SL(蒸気機関車 D51403 号)の恒久的保存、維持管理に努めていくことを目的とする。

(名称)

第2条 本会は、手原 SL 同好会と称する。

(構成)

第3条 本会は、目的に賛同し、積極的に参加する愛好者で構成する。

(事業)

第4条 本会の目的達成のため、次の事業を行う。

1. 手原駅前の公園に設置された SL の恒久的保存、維持管理事業を行う。
2. 会員相互の健康維持向上、親睦事業を行う。
3. 会員相互の研鑽のための事業を行う。

(役員)

第5条 本会には、次の役員を置くものとする。

1. 会長 1名 副会長 1名 会計 1名 会計監査 1名
庶務 1名 広報 1名
2. 役員の任期は、1期2年として再選は妨げない。役員に欠員が生じた時は、補欠選任を行い、その任期は先任者の残任期間とする。

(アドバイザー)

第6条 本会にアドバイザーを置くことができる。

2. アドバイザーは、会長の求めに応じて会議に出席し、意見を述べるができる。

(会議の種類)

第7条 会議は、総会及び役員会とする。

(会議の招集)

第8条 会議は、会長が招集し、その議長となる。

- (1) 役員会は、会長が必要と認めた場合に開催する。
- (2) 総会は、年1回開催する。

(会費)

第9条 会費は、年額1,200円とし、年度始めに納入する。

(夫婦会員は、一人1,000円とする。)

(経費・運営費)

第10条 本会の経費は、会費・補助金・寄付金をもって賄うものとする。

(事業年度)

第 11 条 本会の事業年度は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 3 1 日までとする。

(会則の変更)

第 12 条 本会則の変更は、役員会に諮り、総会の決議をもって決定する。

(附則)

1. 本会則は、平成 21 年 4 月 1 日より施行する。
2. 本会則は、令和 2 年 4 月 1 日より施行する。
3. 本会則は、令和 5 年 10 月 1 日より施行する。

令和 6年 3月31日

栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金運営委員会
委員長 西川 実佐子 様

団 体 名 手原SL同好会

代表者氏名 西村 正男

栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金

実 績 報 告 書

令和4年11月4日付けで採択通知があった標記の補助金について、その実績を関係書類を添えて報告します。

交付済金額 (A) 【1】	100,000円
実績額 (支出総額) (B) + (C)	166,467円
助成対象経費総額 (D)	154,247円
助成基本額 (D) × 3/4 【2】	115,685円
助成額 【1】と【2】のいずれか低いほうの金額 【3】	100,000円
返還額 【1】 - 【3】	0円

記

関 係 書 類

- 1 収支決算書
- 2 事業概要
- 3 事業成果

栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金

(収入)

収 支 決 算 書

(単位：円)

科 目	当初計画額	実際実施済額	備 考
栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金	100,000	(A) 100,000	補助金
団体自己資金	60,000	45,585	
会 費	60,000	45,585	会費他
寄 付 金			
参 加 費		26,500	研修会参加費
そ の 他			
合 計	160,000	172,085	

(支出)

科 目		当初計画額	実際実施済額		備 考
			補助金 充当外経費	補助金 充当経費	
対象 経 費 (○)	報償費	18,000	19,212	0	維持管理指導者謝礼
	旅費交通費	47,000	32,300	0	他団体との交流、研修会旅費
	消耗品費	20,000	2,735	12,885	清掃用具、プリンター用インク購入
	印刷製本費	15,000	0	470	コピー代
	食糧・食材費	20,000	0	0	
	保険料	5,000	0	3,500	ボランティア保険料
	材料費	35,000	0	83,145	維持・修繕用刷毛・ペンキ代等
対象 外 経 費	食糧・食材費	0	9,420		イベント、例会時の茶菓子
	旅費交通費	0	2,800		盆梅展入館料
合 計		160,000	(B) 66,467	(C) 100,000	

※支出内容が確認できるよう別の用紙に領収書を貼付し、併せて提出してください。

※「当初計画額」には助成申請書の事業予算書に記入していただいた額と同額で記入してください。

事業概要

※実際に行った事業の内容を具体的に記入して下さい。

事業実施にかかる準備(会議等)についても記入してください。

実施時期	内 容
4月16日	月例のSL維持管理、公園清掃等作業 参加者15名（栗東高校ボランティア5名含む）
	尼崎SLD518へ研修（尼崎保存会との交流）
5月21日	月例のSL維持管理、公園清掃等作業、汽笛鳴動整備作業 参加者15名（栗東高校ボランティア5名含む）
6月18日	月例のSL維持管理、公園清掃等作業、汽笛鳴動整備作業 参加者15名（栗東高校ボランティア5名含む）
7月16日	月例のSL維持管理、公園清掃等作業、汽笛鳴動整備作業 参加者20名（栗東高校ボランティア5名含む）
8月20日	小学生対象の夏休み自由研究企画実施 参加者6名（保護者含む）
	月例のSL維持管理、公園清掃等作業、参加者20名（栗東高校ボランティア5名含む）
9月4日	役員会議（今後の運営方法等について協議） 参加者4名
9月17日	月例のSL維持管理、公園清掃等作業、参加者20名（栗東高校ボランティア5名含む）
10月15日	鉄道記念日イベント開催 参加者20名（栗東高校ボランティア5名含む）加えて、イベント参加者60名以上
11月19日	月例のSL維持管理、公園清掃等作業 参加者15名（栗東高校ボランティア5名含む）
12月17日	月例のSL維持管理、併せて年末の公園等周辺大掃除 参加者20名（栗東高校ボランティア5名含む）
12月29日	年末のSL飾り付け（お正月用しめ縄設置等） 参加者5名
6年1月7日	新年のSL鏡開き、併せてSLと公園の清掃等作業 参加者15名
1月21日	月例のSL維持管理、公園清掃等作業、汽笛鳴動整備作業 参加者15名（栗東高校ボランティア5名含む）
2月18日	月例のSL維持管理、公園清掃等作業、汽笛鳴動整備作業 参加者20名（栗東高校ボランティア5名含む）
	午後から、長浜鉄道スクエアへの研修実施 参加者10名（うち他団体から3名参加）
3月17日	手原SL春まつりを開催 参加者15名 外部からの参加者60名を超過
	以上、月例のSL維持管理、公園清掃、イベント開催等に従事した同好会参加者数は、延べ234名であり、またイベント等開催に伴う外部来場者数は、約150名です。

事業成果（事業の過程で出た問題や今後の課題含む）

〈 成果 〉

私たち手原 SL 同好会の主たる活動目的は、約 50 年前に旧国鉄より栗東市に譲渡された SL (蒸気機関車) を維持管理することにある。静態保存、設置されてから約 50 年を経年し、経年劣化による SL 本体は錆や塗装の剥離が著しくなり、外見上見苦しい状況下にあり、SNS 上でも見学者から「酷い状態である」との指摘がなされていた。そこで、SL 同好会の会員をはじめ、市役所や栗東高校のボランティア同好会の協力も得て、SL の維持管理補修作業を毎月定時に行うことにより、完璧とまではいかないが、何とか往時の雄姿を偲ばせるまでの SL の姿まで維持管理することができた。さらには、同好会会員の研修や資質向上に務めたこと、また新たな鉄道関係の OB の同好会会員への勧誘が可能となったことにより、静態保存の SL 本体から、「汽笛」の鳴動ができることとなり、今にも SL が動き出すのではと思うような感動の一コマを創り出すことができた。イベントの開催時には、「汽笛」の鳴動により、来場者に感銘を与えるものとなった。

〈 課題や問題 〉

手原 SL 公園内に静態保存されている SL の存在について、まだまだ一般市民や市外の方々に広く認知されているとは言い難い。このため、前年度に引き続いて広報にも力をいれ、SNS の発信にも力をいれた。また活動する同好会の仲間づくりやメンバーの増員を図るため、各種イベントやコラボ企画などを開催し、協賛し、SL の存在価値を広く周知するよう努力した。

この点においては、月例の維持管理や公園内清掃作業などにおいて、栗東高校のボランティア同好会が参加していただくこととなり、大いに活動を盛り上げる契機ともなっている。

さらには、維持管理する同好会メンバーの知識向上、資質向上のため、維持保存方法や維持管理法を学ぶための他団体との交流や研修会を行った。このことは、上記の「汽笛」鳴動が可能となった成果といえる。

しかし、今後、同好会員のさらなる増員、若返り、女性会員の増員、活動をサポートしていただくファンの確保など、問題も残されており、同好会組織の活性化を図りながら、定時の SL の維持管理作業の効率化を進める必要がある。(現状では、特定の人に作業負荷がかかる傾向にある。)

〈 今後の展開 〉

SL の美観維持と保守作業を進め、各種イベントや協賛事業への参画、コラボ活動を通じて、当該 SL を見学に来られる人達は変わらず多く、また見学後、より SL の存在に対して自ら維持管理に携わりたいと希望、入会される方が増えた。JR の OB 関係者で、専門的な知識や造詣のある方々である。成果欄で記述した「汽笛」の鳴動が可能となったことは、彼らの指導に拠るところが大きい。

今後の展開としては、①より一層 SL の存在を広く周知するため、一般市民向けのイベントや企画を増やし、身近なかたちで SL の存在に触れていただきたいと考えている。

昨年度も、SL を理科や歴史の生きた存在、教材として、子どもたちの教育的活用、活動に活かしたく企画したが、十分浸透できなかった。このことから、今後は「子ども会」、幼保、小学校に対して、交流イベントや行事の拡大を図りながら、当該機関に対しての渉外活動を積極的に展開したいと考える。②3 年間の助成期間終了後、いかに同好会の活動の維持継続、運営をしていくか、早めに同好会内部での検討や協議が必要であると考えます。

令和 5年 3月 31日

委員長 西川 実佐子 様

団体名 手原SL同好会

代表者氏名 西村 正男

栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金

実績報告書

令和3年11月18日付けで採択通知があった標記の補助金について、その実績を関係書類を添えて報告します。

交付済金額 (A) 【1】	85,000 円
実績額 (支出総額) (B) + (C)	148,805 円
助成対象経費総額 (D)	132,622 円
助成基本額 (D) × 3/4 【2】	99,466 円
助成額 【1】と【2】のいずれか低いほうの金額 【3】	85,000 円
返還額 【1】 - 【3】	0 円

記

関係書類

- 1 収支決算書
- 2 事業概要
- 3 事業成果

栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金

(収入)

収 支 決 算 書

(単位：円)

科 目	当初計画額	実際実施済額	備 考
栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金	85,000	(A) 85,000	補助金
団体自己資金	70,000	24,017	
会 費	70,000	24,017	会費
寄 付 金	0	0	
参 加 費	0	55,000	研修会参加費
そ の 他	0	13,404	行事参加者謝礼
合 計	155,000	177,421	

(支出)

科 目	当初計画額	実際実施済額		備 考
		補助金 充当外経費	補助金 充当経費	
対象経費				
報償費	18,000		21,080	イベント指導者謝礼他
旅費交通費	47,000		36,090	他団体との交流・研修会旅費
消耗品費	20,000		24,353	軍手・インク等購入
印刷製本費	15,000		1,680	コピー代他
食糧費	30,000		3,500	行事招聘者用賄い
保険料	5,000		3,500	ボランティア保険料
材料費	20,000		37,419	営繕用刷毛・ペンキ代他
使用料	0		5,000	イベント開催時の会館使用料
食糧費及び食 材費	0	16,183		イベント・例会時茶菓代
合 計	155,000	(B) 16,183	(C) 132,622	

※支出内容が確認できるよう別の用紙に領収書を貼付し、併せて提出してください。

※「当初計画額」には助成申請書の事業予算書に記入していただいた額と同額で記入してください。

事業成果（事業の過程で出た問題や今後の課題含む）**〈 成 果 〉**

私たち手原SL同好会の主たる事業目的は、約50年前に旧国鉄より栗東市に譲渡されたSL（蒸気機関車）を維持管理することにある。静態保存、設置されてから約50年を経年し、経年劣化によるSL本体は錆や塗装の剥離が著しくなり、外観上見苦しい状況下にあった。

SL同好会の会員をはじめ、市役所の協力も得て、SLの維持管理補修作業を毎月定時に行うことにより、まだ完全ではないが、何とか往時の雄姿を偲ばせるまでのSLの姿まで維持管理することができた。

〈 課題や問題 〉

手原SL公園内に静態保存されているSLの存在について、まだ市民ばかりでなく、市外の方々に広く認知されているとはいいがたい。このため、令和4年度は広報にも力を入れ、SNSやユニークな立看板を新たに設置した。また活動する同好会の仲間づくりやメンバーの増員を図るため、各種イベントを開催し、協賛し、SLの存在価値を広く周知するよう努力した。さらには、維持管理する同好会メンバーの知識向上、資質向上のため、保存方法や維持管理法を学ぶため、同様の他団体との交流や研修会を実施した。

しかし、まだまだ本格的な活動の域を越えておらず、同好会会員の増員、若返り、女性会員の増員を図り、同好会組織の活性化を図りながら、定時のSLの維持管理作業の効率化も図る必要がある。同好会組織体制の充実化も図る必要がある。（現状は、特定の人に負荷がかかる傾向にある。）

〈 今後の展開 〉

SLの美観維持と保守作業を進め、各種イベントや協賛、コラボ活動を通じて、当該SLを見学に来られる人々は確実に増加している。また見学後、よりSLの存在から自ら維持管理に携わりたいと入会される会員も増加した。

① 今後は、より一層SLの存在を周知するため、一般市民向けのイベントや企画を増やし、またSLを理科や歴史の教材として、子どもたちへの教育的活用、活動に活かしていくため、「子ども会」との交流イベント、幼保・小学校への交流イベント等、行事の拡大を図りたいと思っている。

② 3年間の助成期間終了後、いかに同好会を継続維持、運営していくか、早めに準備しておく必要があり、今年度から同好会内部での検討、協議も進める必要がある。